

明るく 正しく たくましく

中竹野小学校 (竹野)

案内者 山本 拓実くん



中竹野小学校は、竹野町南北のほぼ中間に位置しています。校舎近くを竹野川が流れ、周囲は広大な自然に囲まれています。竹野川沿いに点在する9つの地区から、現在、41人の児童が通っています。

中竹野小学校に通う児童会長の山本拓実くんは、水泳が特技です。また、1年生の夏休みの自由研究をきっかけに、恐竜についての知識を深めています。将来は考古学者になりたいという夢を描く山本くんは、中竹野小学校を紹介してもらいました。



▲自然遊びを中心にたくましい体づくりを大切にしている中竹野小学校

僕の一番好きな学校の行事は、毎年7月下旬の夏休みに竹野川で行ういかだ下りです。

これは、1年生から6年生までの3、4人で班を組み、全部で14班を編成し、竹野川をいかだで下るものです。時には、川が少し深いところで飛び込んでみたり、泳いでみたりととても楽しかったです。

特に楽しかったのは、レースです。決められたコースをいかだで下り、どの班が一番速いかを競い合います。今年、僕の班は7位とあまりよい結果ではありませんでしたが、このいかだ下りを通じて、友達とのつながりが深まりました。それに、地域を流れる竹野川と自然にふれることができたので、自分が住むまちに親しみもわきました。また、春から秋にかけて米づくり体験をしています。5

月に幼稚園児と一緒になり全校生で田植えを行い、9月には稲刈りをしました。12月には、保護者や祖父母、地域の方を招待して、収穫したもち米でもちつきをしました。そして、みんなでおいしくせんざいをいただきました。つき上がったものは、福祉活動として、高齢者の方やお世話になった方に届け、喜んでいただきました。



▲真夏のいかだ下りは児童の楽しみな行事の一つ。「水が冷たくて気持ちいいよ」

中竹野小学校は、住む地区によって進学する中学校が2つに分かれます。6年間同じクラスだった友達の何人かとはお別れの時が近づいていますが、これまでの交友を大切にしながら、新しい生活を充実させたいと思います。

笑顔の輪

みんな楽しく踊ろう

『なかよしバレエサークル』(日高)

なかよしバレエサークルは、日高農村環境改善センターの多目的ホールで月3回、クラシックバレエの練習に励んでいます。平成16年から活動を始め、現在、4歳から小学3年までの子どもたち23人が所属しています。

練習では、天良恵美さんの指導のもと、立ち姿勢や歩き方、音楽に合わせてのダンスレッスンなど、基礎から応用までを練習しています。

クラシックバレエは、言葉を使わない舞台芸術といわれています。白鳥の湖、くるみ割り人形、眠れる森の美女などの作品が有名で、舞台では言葉や感情など、物語のすべてをダンスで表現します。

メンバーの三木葉月さん(静修小2年)は、「音楽に合わせて踊ることがとても楽しいです」と目を輝かせてバレエの魅力を話します。このサークルの長所は、何ととっても仲の良さです。う

まくできたときは一緒に喜び、失敗したときは励まし合い、みんなで支え合って練習しています。

そんな子どもたちの練習の成果を発表する機会が、毎年1回行われるクリスマス発表会です。保護者や地域の方に披露しています。

「将来、このサークルの中から、世界へ羽ばたくバレリーナが生まれたいですね。バレエの楽しさをたくさん伝えたいです」と子どもたちの活躍に期待を寄せる天良さん。優しさと厳しさを併せ持った指導を通して、子どもたちの技術と交流が深められています。



▲天良さんの掛け声に合わせて基本姿勢を学ぶ子どもたち